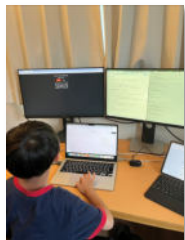


彼らの姿を見ていると、「教科書で学ぶ」「や「ゲームはお店で買う」といった古い常識や固定観念に縛られてはいけなと痛感します。

我々も考え方を柔軟に、時に大胆にアップデートしながら、頼もしく彼らの成長を温かく見守りたいと思います。



我が家には令和生まれの男の子が二人います。

最近の彼らの行動は、私の子ども時代とは全く異なり驚きの連続です。

6歳の長男は、わからないことがあればAIに即質問。最近ではAIで計算ゲームを自作し、ドリル代わりにしています。私が悩んでいると「なんでさっさとAIに聞かないの？」と生意気な一言も。

2歳の次男も、一丁前にタブレットをサクサクと操りアニメを観たり、スマートスピーカーに「曲かけて！」と果敢にリクエストしています。（拙い発音がまだAIに伝わらず、私が裏でこっそりフォローしています）

大人以上のスピードでテクノロジーの進化に戸惑いながら成長していく子どもたち。



「令和ボーイ」の
お作法」

菅原 耕平
（40代）
上馬4丁目在住

本紙は世田谷区のホームページでもご覧いただけます！

13ひろば

検索



90



上馬地区キャラクター
かみじいさん

発行 13ひろば編集委員会
責任者 中村 竹子

事務局 上馬まちづくりセンター
住所 世田谷区上馬4-10-17

電話 03 (3422) 7415

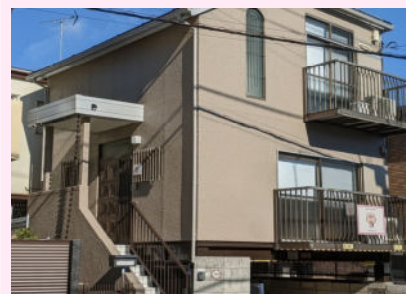


親子が安心して過ごせる“心の拠り所” 『おでかけひろば 上馬』



昨年10月、上馬地区に区の子育て支援施設『おでかけひろば』が開設されました。

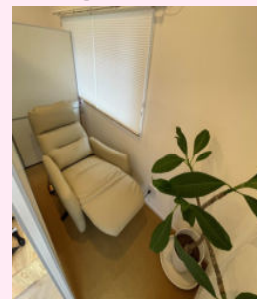
一見普通の住宅ですが、一歩中に入ると木のぬくもりに包まれた明るく清潔な空間が広がっており、子育て中のパパさん、ママさんがいつでも好きな時間に利用できる場所となっています。



室内にはおもちゃや絵本が充実しているほか、リトミックや読み聞かせ、離乳食講座、はみがき教室、親子足形制作など、親子で楽しめる工夫を凝らした企画も満載です。（イベントの内容によっては実費が必要な場合があります。）

施設外観

▼らっこスペース



▼絵本コーナー



1 番の特徴は、授乳室とは別に専用の『らっこスペース』があり、ママさんが心身ともにゆっくり休むことができます。休憩中はスタッフがお子さんを見守ります。

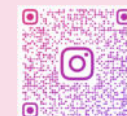
【ご利用者の声】



近所に友人ができ、この街での育児が楽しくなった！

孤独な子育てから解放された！

出産を控えたプレママ・プレパパの利用も歓迎しています。日によって小児科医や保健師などの専門家が待機しており、専門的なアドバイスを受けられるのも心強い点です。土曜日には両親学級も開催されています。また、平日は忙しいパパも親子で楽しく過ごせます。自分のペースで自由に立ち寄り、心を通わせることができる、地域に根ざした安心の拠点です。



▲公式Instagram

イベント情報も載っています！
チェックしてみてくださいね！



上馬まちづくりセンター
新規採用職員の紹介
新しい職員が加わりました。



（しらはた あかり）
白畑 朱理
常勤職員
4月1日付

よろしくお願いします

意外と知らない？駒留八幡神社の由来

今回は、「駒留八幡神社」の名前の由来について調査しました。

この地の領主だった左近太郎入道は、村の中心となる神社を建てようとして常日頃から考えていました。ある夜、夢に八幡様が現れ「太郎よ、私が祀られたいところはお前の愛馬白雪に聞け。」と言われ、翌朝白雪に乗り自由に歩き回らせるところ、ある場所です立ち止まりました。太郎入道はここが八幡様のお告げの場所と違うのかもしれないと考え神社を建てました。

◇こまどめまつり
10月17日（土）18日（日）
駒留八幡神社
（上馬5-135-13）
にて行われます。



編集後記

今号から上馬北部町会が編集委員長を務めることになりました。これまでと変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

今号では原点に立ち返り上馬五丁目、おでかけ広場や駒留八幡神社など、地域に根ざした場所を担当編集委員が取材しました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

これから新しい発見や素朴な疑問、心と話題を、皆さまと共に見つけていけると幸いです。

このたび編集委員の大橋かず子さんが退任されました。長い間お疲れ様でした。

▶駒留八幡神社社殿



▶駒留八幡神社鳥居



13ひろばバックナンバー

過去の記事はコチラの
二次元コードからご覧いただけます！



次号は
令和9年3月
発行予定！